

科目名	芸術 I (美術) Art I (Fine Arts)			担当教員	永井 崇幸		
学 年	1 年	学 期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	16220012	単位区分	履修
学習目標	写実描写, 構想画, デザイン画などの絵画表現や鑑賞を通して, 創造力を伸ばし, 豊かな感性と心情を養う。言葉では表現できないことを感じる美意識を深める。						
進め方	相対するイメージを比較することでその本質を見定め, イメージを膨らませて自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 鉛筆デッサン— ペンを持った手 (2)			鉛筆で明暗をつけ, 手の立体感と質感を表現する。 2 つの異なる物質を表現する際には, 質感や大きさなどが相互に関わりあうことを知る。 E6:1			
	2. 記憶の絵地図 (6) 着彩			自分がすごした幼児期・年少期を思い出し, 他人が見てわかりやすい表現をする。 自宅周辺をあらゆる絵画表現方法を使って, 分かりやすく楽しい絵地図として表現する。 B2:1			
	3. 構成と表現 (1) 色彩の学習 (1) (2) 「楽しい」と「悲しい」の表現 (3) 着彩 (3) 「寒い」と「暖かい」の表現 (4) 着彩 (4) 「軽い」と「重い」の表現 (5) 着彩			色の知覚・心理的効果を学習して, 効果的な色彩表現を学ぶ。 E6:1 枠の中に着色できる。混色が出る。 比較することで観念的でないイメージを膨らませる。 形と色によって, 言葉で表現できない表現が可能であることを認識する。			
	4. 精密描写 (8) 鉛筆デッサン, 着彩 後期末実技評価 (1)			身近にある工業製品の精密描写を試みることで機能美, 材質の特性, ロゴマーク, 配色などを学習し, 立体的な表現が出来る。 B2:1 デッサンをして立体感のある表現をする。 何度も塗り重ねる透明水彩の技法を習得する。 E6:1			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。 学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価 (90%) (作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%), 制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	芸術 I (美術) (1 年) → 芸術 II (美術) (2 年)						
教 材	スケッチブックと絵の具 (アクリルガッシュ) を購入。(2 年間使用)						
備 考	自主的に美術館・ギャラリーなどの鑑賞を奨励。鑑賞レポートは随時受け付け, 評価に加える。 単位追認は, 未提出・未完成の作品を完成させて提出する。						